



買い物
指南

かしく選ぶ

冬のアウトドア用品④完

小物で首、手首、足首を暖かく

3回にわたり、動きやすく暖かく、汗も逃す快適なウェアを紹介してきた。ただ強風などの悪天候でなければ、一番冷えるのは、体の先端部。森勝さんは「昔から言う、首・手首・足首を冷やさない小物選びが大切」という。

帽子で、体の中で一番血液を使う頭部を暖めるのは非常に有効だ。特に耳まで覆うタイプは野外では役に立つ。つばなしのビーニータイプが人気だが「冬は紫外線も多いためつば付きを薦める」。すぐに暑さを感じるのも頭部なので、運動量に合わせて選びた

低山小道具研究家



森勝さんに聞く

い。「個人的には、薄手で編み目の粗いものを選ぶ」

マフラーは、首はもちろん口や鼻をおおえる。みやさぎタオルのいまばりマフラーは、ハンカチのように汚れ取りにも、登山帰りの温泉でタオルとしても使えて便利。安価でカラーも豊富だ。

近年は手袋も重ねて着用するのが主流だ。低山なら軍手でも問題ないが、キャラバンのシームレスグローブ（税別650円）など薄手の手袋の上に、防水加工の手袋や撥水素材を使用した手袋を重ねるのが安心だ。風も防ぎ、快適

に手を出して歩ける。

足首を冷やさない靴下は、登山ウェアではウール製が好まれていて。肌着と同じでぬれても暖かく、天然の抗菌性能を持ち、イヤな臭いが出にくい。化繊との混紡で耐久性を高めたり、独特の編み方で靴ずれしにくくしたりなど、各社が工夫をこらしている。

身につけるものではないが、あると便利なのが携帯できる折りたたみクッション。冬のベンチは冷たく、疲れていても長い間座れない。ベンチがない場所でも、汚れや水ぬれを気にすることなく休める。100円ショップなどでも販売され、使っているハイカーはとても多い。登山用品店では更に小さく折り畳める製品や抗菌加工されたクッションが販売されている。

①キムキャップ（フーディニ）防風性と透湿性に優れた生地。6千円②いまばりマフラー70オリジナル（みやさぎタオル）綿100%で汗もぬぐえる。全26色。1千円③ウオームライトシェルグローブ（アクシズクイン）起毛トリコットのライニングで適度な保温性がある。2800円④メリノスピンソックスアルパインレギュラー（フアイントラック）ウールとポリエステルなどの混紡。すれにくく、へたりにくい。2300円 ⑤いずれも税別



低山といえど、天候の急変はありうる。そんな時に安心なのがツェルト（簡易テント）。御嶽山噴火で、これがかぶって難を逃れたという登山者も。アライメントのビバークツェルトソロは折りたためば缶ビールほどの大きさ。税別5700円。（畑川剛毅）